

都筑区地域自立支援協議会

こども支援部会

令和元年度 年間報告



横浜市立北綱島特別支援学校

中島 裕美

こども支援部会 全体会

開催回数：1回

出席依頼数：85機関

幹事会開催数：年6回

幹事

| | |
|---------------|------------|
| こども応援ネットワーク | ：佐藤 |
| 都筑区社会福祉協議会 | ：新垣 |
| 児発・放デイ幹事代表 | ：中野 |
| 横浜市北部地域療育センター | ：増田、尾形 |
| 北綱島特別支援学校 | ：中島 |
| 都筑区役所こども家庭支援課 | ：柴田、服部、河野 |
| 都筑区基幹相談支援センター | ：吉濱、八木澤、兼平 |



目的

こどもに関わる多分野の事業所が集まり、
情報共有や意見交換を行いながら、
こどもたちが暮らしやすい、
より良い地域づくりを目指します。



第1回 全体会

「こどもたちがくらしやすい街をどう育むか」

～こどもたちとかかわることで得られるもの かかわることで感じられる励みを伝えあおう～

| | |
|-------|---|
| 日時 | 令和元年11月6日（水）10：00～12：00 |
| 場所 | 都筑区役所6階 大会議室 |
| 参加機関数 | 51機関 |
| 参加者数 | 75人 |
| 内容 | 今、地域で障害のあるこどもたちとかかわっている方の取り組みを伝え、その面白さを地域へのつなぎ役として発信していく。 |



当日の様子



横浜らんぽ 児童発達支援管理責任者
浮貝 由美子氏
「自律した大人に向けて
～らんぽの取り組み～」



主任児童委員 都筑荏田地区
西田 清美氏
「どの子どもどの人もその人らしく
暮らせる地域を目指して」



グループワーク
全体発表を受けて

- ・感想や質問
- ・各自の取り組み など



今年度まとめ

成果

事業所の参加率が高く、顔の見える関係づくりの場としては機能している

3年間、こどもを取り巻く地域づくりについて全体で共有することができた

こどもをとりまくさまざまな立場の情報共有・情報交換の場となっている



今年度まとめ

地域課題

様々な課題を抱える
こども達が安心して
暮らしていくための
連携体制が十分でない

こどもに関わる資源は多いが、情報アクセスがしづらい

地域の中でその子らしく育つ環境づくり

地域とのつながりの促進（関係機関・近隣住民など）

- ・ 幼・保・公立小中学校・放課後キッズ等とつながりが薄い
- ・ 事業所が地域の中に浸透していない、知られていない

ライフステージの変わり目で支援者がつながらない

- ・ 未就学期⇒学齢期、学齢期⇒成人期



今年度まとめ

部会課題

顔の見える関係づくりにとどまり、その後の継続した繋がりが築きにくい

地域づくりに関する課題の共有にとどまり、具体的な取組を行うことが難しい

参加機関の事業種の幅が広いため、各機関の様々な課題に対して取り組むことが難しい



来年度に向けて

こどもをとりまく様々な立場からの課題をどのように考えていくか

- ・ 事業種の幅広さからテーマを設定の難しさがある。そのため、長期的な展望をもって取り組んでいく必要がある

一般の幼稚園、保育園、小・中学校とのつながりをどのようにもっていくか

地域課題に具体的に取組むための部会になるように、テーマ設定や開催方法の工夫をしていく



来年度も・・・

もっと地域のこと
知りたいな

引き続き「地域」の中で、こどもを取り巻く各事業が、
地域に根差していけるよう、こどもに関わる機関が集まり、
理解しあえる関係づくりを行います。

地域とつながりたい
小中学校
保育園
幼稚園 etc

困った時に
相談出来るように。
SOSを見逃さない。

ライフステージ
未就学⇔学齢⇔成人

大人になることを見据えた支援

22世紀を生きる
こどもたち

地域向けの
講演会

地域の中でその子らしく育つために・・・

